

## 2020年第4回IEEE東京支部理事会 議事録

日 時：2020年12月2日(水)14:00～16:40

場 所：機械振興会館6階6-65およびWeb会議

出席者：徳田 Chair、宇佐見 Vice Chair、滝嶋 Secretary、羽渕 Treasurer、  
奥村 COC Chair、東盛 FNC Chair、中村 MDC Chair、川西 TPC Chair、  
稲森 SAC Chair、田中(英)PC Chair、鈴木 HC Chair、重松理事、  
高野 LMAG Chair、吉田 YP Chair、笹瀬 Past Chair、杉江 Past Secretary、  
野田 JC WIE Chair、中野次期 Chair、小林次期 Vice Chair、前原次期 Treasurer、  
坂東次期 COC Chair、粕川次期 FN Chair、笠次期 Nomination Chair、  
今井次期 LMAG Chair、  
百武オブザーバ、梶川オブザーバ、浜田オブザーバ、田中(和)オブザーバ、  
武田オブザーバ、事務局、セクレタリアシスタント、書記

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】
2. 2021-2022年支部役員・理事・委員会メンバー【審議】
3. 2021-2022年Japan Council東京支部代表理事【審議】
4. 2020年東京支部活動報告
5. 2020年東京支部決算予想
6. 委員会2020年活動報告・予算執行状況および2021年活動計画・予算案【審議】
  - ・ Chapter Operations Committee
  - ・ Fellow Nominations Committee
  - ・ Membership Development Committee
  - ・ Technical Program Committee
  - ・ Publications Committee
  - ・ Student Activities Committee
  - ・ History Committee
7. Affinity Group 2020年活動報告・予算執行状況、2021年活動計画・予算案【審議】
  - ・ Life Members Affinity Group
  - ・ Young Professionals Affinity Group
  - ・ Tokyo/Shin-etsu Joint Section WIE
8. 2021年東京支部活動計画【審議】
9. 2021年東京支部予算【審議】
10. その他
  - ・ JC WIE 報告
  - ・ SIGHT 報告

- ・次期理事会への引継事項
- ・IEEE R10 Special Industry Track at TENCON2020 報告
- ・Region10 からのメール連絡一覧

議事：

#### 0. Chair のご挨拶

Chair より開会の挨拶を頂いた。

#### 1. 前回理事会議事録の確認【審議→承認】

Secretary より、前回理事会議事録の確認があり、異議なく承認された。

#### 2. 2021-2022 年支部役員・理事・委員会メンバー【審議→承認】

Secretary より、審議事項の説明があり、異議なく承認された。

#### 3. 2021-2022 年 Japan Council 東京支部代表理事【審議→承認】

Secretary より、審議事項の説明があり、異議なく承認された。

#### 4. 2020 年東京支部活動報告

Secretary より、活動報告があった。Membership Development Activities では在籍年数バッヂを製作、Fellow/Senior 会員増強など新たな取り組みを実施した。また、LMAG-Tokyo 設立 10 周年記念シンポジウムを開催、Communication Activities では R10 Newsletter に 4 件の支部関連の記事を掲載、特に 2020 July Newsletter では東京支部の紹介記事を掲載したこと、その他、EA(Educational Activities)など、新たな取り組みに東京支部からも参加、検討を進めていることが述べられた。

#### 5. 2020 年東京支部決算予想

Treasurer より、決算予想が示された。支出の部について、会議費が発生しているもののコロナ禍の影響で計上額を下回る見込みである。赤字収支となっているが最終的には黒字を見込んでいる。

#### 6. 委員会 2020 年活動報告・予算執行状況および 2021 年活動計画・予算案【審議→承認】

すべての委員会の 2021 年活動計画・予算案はいずれも異議なく承認された。

##### ・ Chapter Operations Committee

COC Chair より、活動報告があった。前回理事会以降、FCS、TCS とともに、すでに承認された MOU # 49729 を 2 分割して、開催日を延期した # 49729 と、規模を大幅に縮小して開催する # 51701 の承認申請があった。# 49729 は Chapter 名の記述ミスがあり、本部に修正依頼を行った。再度通常ルートで承認依頼が来る予定である。# 51701 は承認された。

- Fellow Nominations Committee

FNC Chair より、活動報告があった。日本から 13 名の 2021 年 Fellow 昇格者があった。昨年の 8 名から増えた。Fellow/Senior 増強に向け、Senior 昇格候補の選定に注力頂く状況となった。Secretary より、社内で IEEE の重みを伝えていくことが必要、企業等各組織が注力する技術分野の変遷を考慮した対応の必要があるよう感じた、と発言があった。

- Membership Development Committee

MDC Chair より、11 月時点の会員数と前年同月比が示された。若年会員の減少が相対的に大きかった。Senior 昇格数は 10 月現在で 39 名、11 月分を含めると例年並みの 45 名程度見込まれる。続いて活動報告があった。IEEE 会員特典の周知・リマインド、メール配信による各種リマインド、在籍年数バッジの作製・配付の準備をした。今年中に LAMG 候補への昇格申請の促進、在籍年数バッジ授与準備を行う。2021 年は例年同様の活動に加え、在籍年数バッジの配付を開始する。

Secretary より、TOWERS での会員勧誘施策実施の補足が、また、在籍年数バッジについてその写真を引用しながら説明があった。シニアメンバー昇格メダルは 2021 年 3 月納品予定で詳細が分かり次第展開予定であること、各支部から寄せられたメダルの効果的な活用に向けた提案などの共有があった。

- Technical Program Committee

TPC Chair より、活動報告があった。講演会のオンライン開催について、会場開催よりも登録数、参加者数ともに多く、100 名程度であった。2021 年活動計画・予算案について、COVID-19 の影響に依存するが、2021 年は 6 回の講演会開催を予定し、対面形式の開催を想定した費用を計上している。

Secretary より、JC にて EA が立ち上がり、この過程で講演会など既存の活動に EA の要素を上手く加えられればよいとの検討があるので、EA の観点での連携を視野に入れて欲しいと依頼があった。TPC Chair より、了解したこと、また、過去に地方の学生の参加があり、今後も地域を問わない参加のケースがあると考えられる、地域を問わない周知方法が課題と回答があった。

- Publications Committee

PC Chair より、活動報告があった。IEEE Tokyo Bulletin およびメルマガ No.121 から No.126 までを発行した。今後、No.127 と No.128 の発行を予定する。東京支部/Japan Council のホームページ更新を実施した。R10 Newsletter への募集案内と投稿を行った。2021 年は例年の活動に加え、ホームページの改善を予定している。

LMAG Chair より、LMAG でもイベントの計画など即時性のある情報の掲載について本部から依頼がありホームページの改善を進めているので、この点を含めて検討頂きたいと依頼があり、Secretary より、重要な案件として認識しており、ホームページの改善時に十

分考慮していくと回答があった。Past Secretary より、イベントや会議をはじめとする今後の予定をオープンなホームページで一覧できるとよいので機会があれば検討頂きたいと依頼があり、Secretary より、検討したいと回答があった。

- ・ Student Activities Committee

SAC Chair より、活動報告があった。前回理事会以降、IEEE Student online gathering、電気通信大学 LaTeX オンライン講座、The 10th IEEE Tokyo YP STEP Event、IEEE TOWERS を開催した。2021 年は 18th TOWERS、Seoul Section との学生交流など例年通りの活動を予定する。予算案も例年通りである。

Secretary より、SB や Chapter 等とのコミュニケーションを引き続き密にして欲しい、また、EA についても SAC と連携して進めて欲しいと依頼があり、SAC Chair より、了解と回答があった。さらに、SAC に限らないが、参加人数を、できれば年齢層などを含めて、記録報告して欲しいと依頼があり、SAC Chair より、了解と回答があった。

- ・ History Committee

HC Chair より、活動報告があった。遺留指紋自動識別システム、商用 DSP  $\mu$  PD7720 の開発・実用化は合同で、2020 年 12 月 15 日に贈呈式、講演会は午後にハイブリッドで開催を予定している。IEEE からは会長、Chair が出席を予定する。コロナ禍の影響で懇親会は中止する。その他、HISTELCON2021 出席を予定する。

## 7. Affinity Group 2020 年活動報告・予算執行状況、2021 年活動計画・予算案【審議→承認】

すべての Group の 2021 年活動計画・予算案はいずれも異議なく承認された。

- ・ Life Members Affinity Group

LMAG Chair より、活動報告があった。9 月以降に 5 件の講演会等を online 開催、また LMAG-Tokyo 設立 10 周年の記念行事や IEEE Day パーティを実施した。ほか、LMAG-Tokyo 役員会や LMAG-Tokyo ニュースレターの発行、次期役員の決定を行った。2021 年は、講演会や企業訪問などをはじめ 2020 年と同様の活動を予定している。また、国内 4 つの LMAG とのコラボレーションなどを推進する。

- ・ Young Professionals Affinity Group

YP Chair より、活動報告があった。R10 SYWL Congress Cultural Contest Runner-up Award を受賞した。企業見学会として KDDI 総合研究所にて STEP イベントを online 開催、全体を通して満足度は非常に高かった。その他、IEEE YESIST 12 への投稿結果を受領、TENCON2020 YP session、LMAG-Tokyo 10 周年記念式典(共催)、IEEE Japan SYWL Workshop(共催)、Student Online Gathering 2020(共催)、第 12 回 IEEE キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト授賞式、IEEE TOWERS 審査・後援会賞の贈呈、世界を変える！アイデア実装コンテスト！発表会・表彰式を実施した。イベント準備状況に

については別途レポートを予定している。来年は例年通りの活動を計画する。

Secretary より、EA の検討状況の紹介をお願いしたいと依頼があり、YP Chair より、2021 年に少なくとも 1 回は Engineer Spotlight を東京支部の企画で開催するので協力をお願いしたいと依頼があった。

#### ・Tokyo/Shin-etsu Joint Section WIE

Tokyo/Shin-etsu Joint Section WIE Chair より、活動報告があった。設立経緯、体制が示された。12 月 5 日に IEEE Tokyo/Shin-etsu Joint Section WIE キックオフイベントを予定している。2021 年の活動は信越支部との進め方や予算について整理が必要であり事務局と連携しながら検討する。

### 8. 2021 年東京支部活動計画【審議→承認】

Secretary より、2021 年活動計画の説明があり、異議なく承認された。これまでの取り組みを踏襲しながらも、2020 年に開始した研究・企業等組織単位での Fellow/Senior 推薦増強の協力依頼と協調活動の継続、拡大、また、会員とのコミュニケーションではインターネットによる会員へのタイムリーな情報配信、国際向け情報発信、会員の拡大については 2020 年に制作した在籍年数記念バッジの送付・贈呈を有効活用した会員維持や各種活動への参加奨励、Industry Promotion 活動の強化の一環として、2021 年に札幌支部にて予定する MAW2021 に支部から参加し、成功に向けて支援を行うことなどが示された。さらに、支部独自の表彰制度についても議論して欲しいと発言があった。

### 9. 2021 年東京支部予算【審議→承認】

Treasurer より、2021 年予算計画の説明があり、異議なく承認された。2020 年と同様に、コロナ禍の影響を踏まえて 2021 年も適宜予算計画を精査、修正していく。また、国際会議への現地参加や海外派遣費は online 開催になると不要になるので、このような案件にも注意頂きたいと依頼があった。

### 10. その他

#### ・ JC WIE 報告

JC WIE Chair より、活動報告があった。Japan SYWL Workshop、仙台 WIE 設立 3 周年記念イベントを共催開催、東京 YP 主催エッセイコンテストを開催した。また、JC WIE 支部移行に関する活動が示された。四国・広島・福岡ジョイント WIE は設立記念イベントを 11 月 21 日に実施した。東京・信越ジョイント WIE は設立記念イベントを 12 月 5 日に実施予定である。すべての支部に WIE を設立することができたため、JC WIE は今年度で解散する。現在 JC 理事会にて審議中で、承認され次第、解散のためのペティションを提出し、正式解散する予定である。

- ・ SIGHT 報告

Secretary より、活動報告があった。明確な活動の方向性が未だ決まっていないため、2021年は今後の方向性を決めるミーティングを行う予定である。まずは Humanitarian Technology に関連した活動を行うため、メンバー個々が持つそれぞれの専門分野の情報を共有する場を設け、それらの融合を図りながら全体として目指す方向性を決定する。

- ・ 次期理事会への引継事項

Secretary より、引継ぎ事項について説明があった。定例業務、会計報告、IEEE 東京支部事務局の管理、IEEE 本部・Region10 との連携・交流、次期執行部のアクションアイテムなど、引継ぎ事項が示された。特に、会計管理では実施時期を含めた予実管理の重要性が強調された。

- ・ IEEE R10 Special Industry Track at TENCON2020 報告

Past Secretary より、開催報告があった。11月18日日本時間 3:00pm-7:00pm に TENCON2020 で TENCON のオンラインプラットフォームを使用して開催された。テーマは「SDGs に向けた新しいビジネスとビジョンの創出」であり、83名(IEEE 会員 60%)の参加者があった。出席者へのアンケート結果が示され、概ね好評であった。

- ・ Region10 からのメール連絡一覧について紹介があった。

- ・ Vice Chairより閉会の挨拶を頂いた。

以上